適正処理。環境

エコスタッフ・ジャパン

安心安全の全国ネット

4月から審査・サービスなど開始へ

排出者向け処理業情報提供

エコスタッフ・ジャパン（東京・中央、宗大介社長、☎03・5201・3926）は、排出事業者向けの廃棄物処理・リサイクルに関するコーディネート、情報提供サービスなどについて、ネットワークに参加を希望する処理業者の審査などを4月から開始する予定としている。品質向上のためのマネージャーマニュアルの作成も進めており、全国的に標準化された安心・安全の処理サービスを展開する。

同社は、全国の処理業有志らの発案をもとに昨年1月に設立された。排出事業者が必要とするコンプライアンス（法令順守）を重視した情報提供やマッチング、管理業務などのサービスを、独自に設けた基準をクリアした処理業者のネットワーク＝フランチャイズで対応する。

ネットワーク構築のため、あらゆる品目の廃棄物に対応するための収集運搬、中間処理、最終処分（資源化利用）に係る処理業者のデータベース化にも着手した。

入会を希望する処理業者の審査基準、コンプライアンスの徹底やサービス品質を向上する為のマネージャー向けのマニュアル、ドライバー向けのガイドラインなどについてもすでに素案をとりまとめている。

1月29日には東京・経団連会館で同社に参画した処理業者とともにセミナーを行った。

セミナーでは慶應義塾大学の細田衛士教授と排出事業者目線という事で日産自動車リサイクル推進室の川口慎一氏、マニュアル作成に携わった環境ワークスの黒崎由行社長が講演。動脈産業のサプライチェーンに資源を供給する起点として、処理業には技術や品質、ネットワーク化が一層重要になることなどが指摘された。

環境省

「21世紀環境戦略」策定へ

3Rイニシアティブ推進

具体的には、中央環境審議会に「21世紀環境立国戦略特別部会（仮称）」

記者手帳

資源有効

産業界などの3Rの取り組みを促進する資源の有効な利用の促進に関する法律（以下、資源有効利用促進法）の見直しの議論が始まった。附則で2009年（平成20年）3月までに施行の状況について検討を加えることとされており、経済産業省の産業構造審議会廃棄物・リサイクル小委員会の下に基本政策ワーキンググループ（WG）が設置された。

WGでは、資源の有効利用を巡る現状で指定されている業・製品について、資の有効利用などに関する検証）、今後の持続能社会の構築に向けた基本的考え方、3R政策の施策展開の方向性（法の見直し方向性）などの課題を検討し、今年7月までに報告書案をとりまとめ、9月上旬には報告書をとりまとめる。

経済産業省は今回の見直しに関連して、属資源や石油系資

金表（単位：円/t）　2007年4月1日

廃棄物名称	処分料金
	4,830
）	4,830
）	4,830
	12,495
	6,720
	8,925
	4,830
	12,495
	9,030
	8,190
	4,305
	6,300
磁くず	6,300
ト・ASR	15,540
（石綿含有産業廃棄物等）	12,495